

抗原定性検査キットの使用にあたって

はじめに

- ▶新型コロナウイルス感染症の感染者を早期に把握し、クラスター発生や感染拡大の防止を図ることを目的として高齢・障害者施設等の従事者向けに、抗原定性検査キットの配布を行っています。
- ▶使用にあたっては、厚生労働省の研修資料を必ずご覧いただき、別添の取扱説明書に従い適切に行ってください。

【新型コロナウイルス感染症に関する研修資料】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00270.html



検査の実施

- ▶検査キットは、上記研修を受講・説明書をご確認いただき**必ずご本人が自宅で**使用してください。
- ▶**鼻腔検体**により採取してください（鼻咽頭での採取はできません。）
- ▶ご家族と同居の場合、検体を採る時に飛沫がかからないよう十分に注意してください。
- ▶使用済みのキットは、説明書に従い適切に廃棄してください。

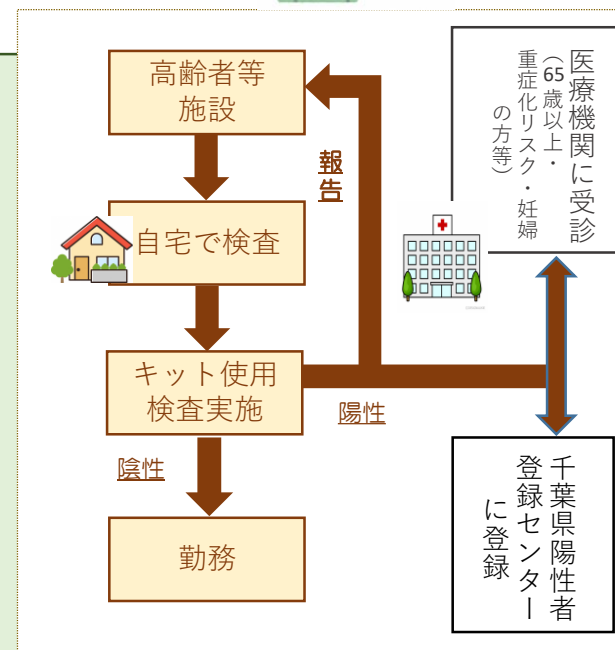


ご自身で採取

検査結果が陽性だった場合

- ▶千葉県新型コロナウイルス感染症陽性者登録センターに登録してください。
- ▶65歳以上の方、重症化リスクのある方、入院を要する方、妊婦につきましては、医療機関にご連絡の上受診ください。（※センターへの登録方法等詳細は裏面をご覧ください。）

- ▶医師の判断で受診時に再度検査を行わず、この検査の結果を確定診断に用いる場合があります。検査結果をスマートフォン等で**画像として保存**しておくなど、受診時に提示できるようにしておいてください。



検査の実施にあたって

◎ 千葉市からのお願い ◎

○ 検査キットを受け取った本人が、自宅にて必ずご使用ください

- ✓ 送付された検査キットは、自宅に持ち帰り、ご家族等で使用せず、施設等従事者ご本人がご使用ください。
- ✓ 検査キットの譲渡や販売・転売は、絶対にしないでください。

○ 検査結果が陽性の場合、必ず勤務先に報告し、千葉県新型コロナウイルス感染症陽性者登録センターに登録ください

- ✓ 千葉県新型コロナウイルス感染症陽性者登録センターへアクセスし、陽性になったことを登録してください。それ以外の方は、お住まいの市町村、管轄保健所へご確認ください。

【千葉県新型コロナウイルス感染症陽性者登録センター】

https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kenkoufukushi/test_distribute_and_register_positive.html



※①65歳以上の方、②入院を要する方、③重症化リスクがあり新型コロナ治療薬の投与が必要な方、又は重症化リスクがあり新型コロナ罹患により新たに酸素投与が必要な方③入院を要する方④妊娠されている方は、発生届出の対象となっていますので、医療機関を受診してください。また、症状が悪化したり緊急性の高い症状が現れたりした場合はすぐに医療機関を受診または救急搬送を要請してください。

○ 検査終了後は、報告ページに検査結果を必ずご報告ください

✓ 【事業所管理者様へのお願い】

抗原検査キットをお申込みいただきましたら、必ず検査を実施し、前週の結果を翌週月曜日（祝日の場合は、原則としてその翌営業日）までに、検査実施数をご報告してください。

<https://www.chiba-testkit.jp>

【この検査事業に関するお問合せ先】

【高齢施設等従事者】

介護保険事業課

043-245-5062

【障害施設等従事者】

障害福祉サービス課

043-245-5174

【救護施設従事者】

保護課

043-245-5241

抗原定性検査キット取扱説明書

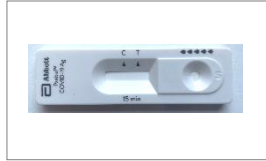
検査前に必ず
ご確認ください

検査前に必ず以下をご確認いただき、正しく検査を行ってください。なお、抗原定性検査キットの需要増により、抗原定性検査キットの種類が変更となる場合があります。届いた抗原定性検査キットの同梱物をよくご確認の上、ご使用ください。

① キット内容

直射日光は避けて保存してください

(1) テストデバイス



(2) 抽出液



(3) 検体抽出容器



(4) 検体抽出容器キャップ



(5) 滅菌綿棒

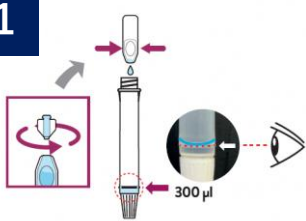


結果読み取り15~20分の間に
検査結果を医療機関受診時に
提示できるよう、
スマートフォン等で撮影し
画像として手元に
保存してください。

② 検査方法

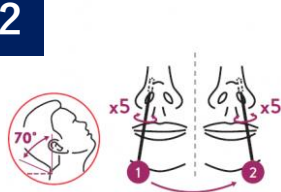
鼻腔検体の採取は必ず受検者本人が行ってください

1



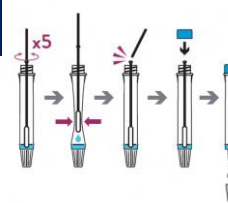
- 抽出液アンブルのタブをひねってねじ切る。
- 抽出液アンブルを垂直に保持し、抽出液300µLを検体抽出容器の上限ライン(300µL)まで加える。
- ※全量を滴下しない

2



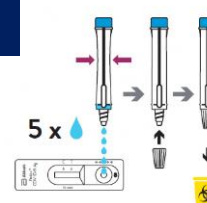
- 頭部をわずかに後ろに傾ける。(70°)
- 滅菌綿棒を鼻孔にゆっくり挿入していき、最初に抵抗を感じる部分(約2cm)まで到達させる。
- 鼻腔壁を擦る様に5回転させる。
- 滅菌綿棒をゆっくりと取り出し、同じ綿棒でもう一方の鼻孔で検体採取を繰り返す。

3



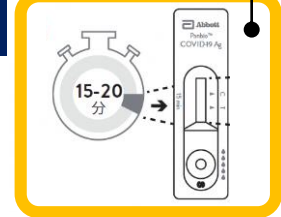
- 抽出液に検体採取後の綿棒の綿球部分を浸し、管壁に押し付けながら、最低5回、回転させる。
- 検体抽出容器の外側から綿球を指で押さえながら、検体を搾り出す。
- 綿棒の軸のブレークポイントで軸を折り、検体抽出容器キャップをしっかりと閉める。

4



- アルミ袋からテストデバイスを取り出し、平らな面に置く。
- 検体抽出容器の滴下ノズルのキャップを開け、試料液5滴をテストデバイスの検体添加部へ垂直に滴下する。
- ※反応終了までテストデバイスを動かさない

5

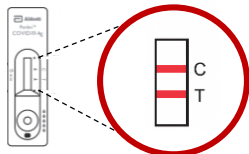


- 15分後にテストデバイスの判定領域を観察し、ラインの有無により判定する。
- ※反応から20分以上経過したテストデバイスは判定に使用しない

③ テスト結果判定

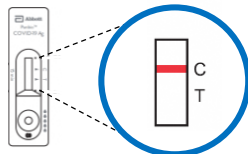
陽性

テストライン(T)およびコントロールライン(C)にラインが認められた場合



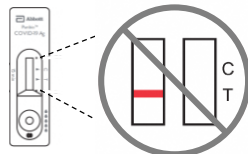
陰性

コントロールライン(C)にのみラインが認められ、テストライン(T)にはラインが認められなかった場合



判定不能

コントロールライン(C)にラインが認められなかった場合



抗原定性検査キット配付事業に関するお問合せ先

お問合せフォームURL：

<https://chiba-testkit.jp/form05>



お問合せメールアドレス：support@chiba-testkit.jp

■ 使用済み検体抽出容器は滴下ノズルのキャップを閉めてから自治体の分別区分に従って廃棄してください